



新年度のスタートに当たって

校長 和田 大二

1 教育目標

あるべき生き方を学ぶ生徒

○重点目標

■「マナーの心」(徳)

- ・真心の「マ」、仲間(認め合う、許せる)の「ナ」、ありがとう(感謝)の「ア」
- ・心を育て、感性を高める

■「為せば成る」(知・体)

- ・目標実現に向けて、粘り強く取り組む

2 教育目標実現に向けて

- 教育目標「あるべき生き方を学ぶ生徒」の「あるべき生き方」とは、社会性、集団適応能力、生涯学び続ける力・・・等、その示す範囲は広い。

思春期まっただ中の中学生段階では、「素直」「元気」「挑戦」「思いやり」の四つのキーワードで、あるべき生き方を学ばせたい。

3 目指す生徒像

- 感謝の気持ちを伝えることができる生徒(素直)
- 明るく元気なあいさつができる生徒(元気)
- 目標を決め、粘り強く取り組む生徒(挑戦)
- 相手の痛みや悲しみが理解できる生徒(思いやり)

4 目指す教師像(教師集団)

- 個々の能力と特性を生かし、チームプレーで生徒の力を引き出せる教師集団
- 責任を転嫁せず、保護者と一緒に生徒を育てる教師
- 自分に否がある場合は、素直に認めることができる教師
- 常に笑顔を忘れず、真心を込めて生徒に接することができる教師
- 非違行為をしない、させない教師集団

5 目指す学校像

- 生徒一人一人が成長を実感できる学校
- 仲間を認め、笑顔と活気にあふれる学校
- 困難に挑み、互いに磨き合う生徒を育てる学校
- 生徒、保護者、地域から信頼され、地域とともに歩む学校